
2017さくら道国際ネイチャーラン

掲 載 紙 面

中日新聞社

どから選んだ。捕欠は
六人。
名古屋城から金沢・
兼六園までの二百五十
*を走り、二十四回目
となる来年は四月二十
一―二十四日に行われ
る。
(堀亮)

参加希望者は申込に必要事項を記入し、〒500-8511、郡上市白鳥白馬五八の二、郡土役所白鳥島振興事務所振興課（電話）へ送付する。締切のりは五月三十一日。参加費ははたきの大袋を二つとを考慮し減額する。問い合わせは事務局（電話）057-3111111。

22日前6から順次スタート。制限時間は36時間。8カ国・地域の139人が参加。

太 平 洋 と 日 本 海 を 桜 で つ な ぐ

さくら道国際ネイチャーラン

▽コース＝名古屋城・愛知稲沢市―一宮市・岐阜県各務原市・岐阜市・関市・富山市・郡上市・白川郷・富山県南砺市・金沢・兼六園（約2500*）。先頭ランナーは23日前5、ろゴール予定

問い合わせ 大会事務局

中目土ポリー

[illegible]

ネイチャーラン
新エイドを確認
郡上で打合わせ
さへ道国際ネイチ
ャーラン（郡上市、中
日新聞社など共働）の
開幕を二十一日に控
え、運営委員会とボラ
ンティアの合同打ち合
わせ会が、郡上市白鳥
町の白鳥あけあい創造
館に開かれた。

新に長良川鉄道郡
上八幡駅や白川村の盛
善駐車場など三万所が
エイド（選手）の支援・
軽食処所）となること
を確認。池田町の宮地
小学校が育てて校の
苗木同町の小川幸雄
さんらへ贈られた。小
桑伊津男実行委員長
は、ボランティアを通
じて何かを学んで役立
ててほしい」と話し
た。

ネイチャーランは、
無償協力を続けた
国鉄八重宝の故佐藤
良さん（上志の遺志を受け
継いで開催され、今年
で十四回目。国内外の
の百千九人が名古屋

小川さん家から桜の苗木を受け取る小桑実行委員長（郡上市白鳥町で育ち、さくら道国際ネイチャーランニング・マラソンを走っている）と堀亮（堀亮）

太平洋と日本海を横つてなう

22日前6から順次スタート。制限時間は36時間。8カ国・地域の139人が参加。コースは名古屋・愛知豊橋・沼市一宮市・岐阜豊田・岐阜市・関市・美濃市・郡上市・白川郷・富山県南砺市

国際道
くらやち
さネ

金沢・兼六園（約2500㎡）。先頭ランナーは23日前5分30秒でゴール予定。問い合わせ先 大会事務局 075-5（82）3111。HPは「ネイチヤールン」で検索 共催 岐阜県郡上市 中日新聞社

太平洋と日本海を接つた「う」

22日前6から順次スタート。制限時間は36時間。8カ国・地域の139人が参加。コースは名古屋、愛知稲橋沢村、一宮市、岐阜県笠井町、岐阜市、関市、美濃市、郡上市、白川郷、富山県南砺市

国際ラン
道一
ヤ
くら
イ
チ
ネ

金沢・兼六園(約2500m)。先頭ランは23日前5時からスタート。25日午前5時からゴール予定。問い合わせ先：大会事務局 0255(82)3111。HPは「ネイチヤラン」で検索。共催：岐阜県郡上市、中日本新聞社

1 3 3

2017.4.21 岐阜総合版



清流と桜とこいのぼり
が迎えるネイチャーラ
ン＝郡上市白鳥町で

ネイチャーランあす号砲 桜や「こい」お出迎え

「さくら道国際ネイチャーラン」郡上市白鳥町の国道1
チャールン(郡上市、
中日新聞社と共催)は、
は、二二日午前六時
に名古屋城をスタート
する。岐阜、富山を経
て兼六園(金沢)までの
約二百五十キロを国内
の百二十九人が走る。
刻
△主な通過地点と予想時
刻
・大平洋と日本海を
桜をつなぐ」と無償
で桜を植えた旧国
鉄バス車掌の故佐藤良
二さんの遺志を継いで
開催され、二十四回
佐藤さんの出で、

名古屋城から兼六園を駆け抜ける 「さくら道国際ネイチャーラン」きょう号砲



名古屋城から金沢市の「イチャールン」(岐阜県
兼六園まで250キロを走
破する「さくら道国際ネ
共催)の開会式が21日、

開会式であいさつをし合う
内外の選手たち「名古屋市内
のホテルで(佐藤喜彦撮影)

過酷な250キロ走破
「私たちはできる」
ネイチャーラン開会式
名古屋城から金沢市の兼
六園まで二百五十キロを走破
する「さくら道国際ネイチ
ャールン」(岐阜県郡上
市、中日新聞社と共催)
の開会式が二十一日、名
屋市中区のホテルであつ
た。海外七カ国・地域と
内から百三十五人のランナ
ーがエントリーした。選手
を代表し、フランスのジャ
ーラン」(岐阜県郡上

2017.4.22 中日スポーツ

名古屋市内のホテルであ
った。
大会は、名古屋と金沢
を結ぶ旧国鉄バスの車掌
で、太平洋から日本海ま
で桜並木をつなぐと苗
を植えた故・佐藤良二さ
んをたたえて始まり、今
年で二十四回。海外七カ国
・地域と国内から135
人がエントリーした。ス
タートは22日午前6時
で、制限時間は36時間。
先頭は24時間前後でゴール
する見込み。



んがあいさつ。オバマ
前大統領のキャッチフレ
ーズに触れ「かつて偉大な
プレジデントが「イエス・
ウィー・キャン(私たちは
できる)」と言った。頑張
たい。心温まるおもてなし
をアガトウ」と話した。
大会は二十四回目。名
屋と金沢を結ぶ旧国鉄バ
スの車掌で、太平洋から日
本海まで桜並木をつなぐと
苗を植えた故・佐藤良二さ
んをたたえて始まった。分
水嶺を越えるコースの高低
差は八百五十メートル、国内
トップレベルの過酷なレ
ース。スタートは二十二日
午前六時で、制限時間は三
十六時間。先頭は二十四時
間前後でゴールする見込み。

2017.4.22 第三社会面

金沢へ250キロに挑む ネイチャーラン号砲



名古屋から金沢市まで
の二百五十キロを走破する
「2017さくら道国際ネ
イチャーラン」(岐阜県郡
上市、中日新聞社など共
催)が二十二日、開幕し
た。三十六時間の制限時間
の完走を目指すランナ
ーたちが午前六時、名古屋
城本丸御殿前を出発した。
太平洋側から日本海側ま
でを結ぶ標高差約九百の

金沢市を目指し、名古屋城本丸御殿前をスタート
するランナーたち「22日早朝、名古屋市中区で

2017.4.22 夕刊 第二社会面

護師リンド・ベンクスンさ
ん(三三)は「友人に誘われ、
桜を見ようと初めて来日し
た。歴史ある大会に出場で
きてうれしい」と話した。
大会は、名古屋と金沢を
結んだ旧国鉄バス車掌で、
沿線に三本の桜を植えた
旧白鳥町(現郡上市)出身
の故佐藤良二さんを顕彰
し、一九九四年に始まった。
ランナーは午後には郡上市
を通り世界遺産白川郷の
合掌造り集落を抜けた後、
トップは二十三日午前六時
にも兼六園に到着する。

2017.4.22 北陸中日 第二社会面

名古屋城から金沢市の兼六園まで二百五十キロを走破する「さくら道国際ネイチャーラン」(岐阜県郡上市、中日新聞社など共催)の開会式が二十一日、名古屋市中区のホテルであった。

250キロ完走「ウィー・キャン」 ネイチャーラン 開会式で選手誓う



開会式であいさつをし合う国内外の選手たち=21日、名古屋市内のホテルで

がエントリした。選手を代表し、フランスのジャン・ジャック・メリエさん(笑)があいさつ。オバマ前米大統領のキャッチフレーズに触れ「かつて偉大なブレジデントが『イエス・ウィー・キャン(私たちができる)』と言った。頑張りたい。心温まるおもてなしをアリガトウ」と話した。大会は二十四回目。名古屋と金沢を結ぶ旧国鉄バスの車掌で、太平洋から日本海まで桜並木でつながうと苗を植えた故・佐藤良二さんをたたえて始まった。分水嶺を越えるコースの高低差は八百五十メートルあり、国内トップレベルの過酷なレース。スタートは二十二日午前六時で、制限時間は三十六時間。先頭は二十四時間前後でゴールする見込み。

金沢へ 走れ250キロ



金沢を目指し名古屋城本丸御殿前からスタートするランナー=22日午前6時18分、名古屋市中区で

さくら道国際ネイチャーラン開幕

名古屋から金沢市までの二百五十キロを走破する「2017さくら道国際ネイチャーラン」(岐阜県郡上市、中日新聞社など共催)が二十一日、開幕した。三十六時間の制限時間の完走を目指す、ランナーたちが午前六時、名古屋城本丸御殿前を出発した。太平洋側から日本海側までを結ぶ標高差約九百メートルのコースを駆け抜け、金沢市の兼六園で桜にタッチしてゴールする。国内からは百十一人、海外からは韓国、フランスなど七カ国から二十四人が出場した。

東京都杉並区の会社員岡

大会は、名古屋と金沢を結んだ旧国鉄バス車掌で、沿線に一千本の桜を植えた旧白鳥町(現郡上市)出身の故佐藤良二さんを顕彰し、一九九四年に始まった。ランナーは午後郡上市を通過し、世界遺産白川郷の合掌造り集落を抜けた後、トップは二十二日午前六時にも兼六園に到着する。(日進通信部・森若菜)

2017.4.22 北陸中日 夕刊第二社会面



満開の桜の下を力走するランナー=岐阜県郡上市白鳥町で(堀亮撮影)

花びら舞う中力走 さくら道国際 ネイチャーラン

金沢市の兼六園を目指して名古屋城を22日早朝にスタートした「2017さくら道国際ネイチャーラン」(岐阜県郡上市、中日スポーツなど共催)のランナーたちは、同日午後、岐阜と富山を結ぶ国道156号線などを走り続けた。

2017.4.23 中日スポーツ

立ち寄るランナーを迎え、軽食や飲み物を提供した。桜が散り始めから満開となった郡上市、花びらが舞う中をひたすら北へ進む。ランナーたちは夜を徹して走り、23日朝から夕方にかけてゴールをする。「太平洋と日本海を桜でつながう」と無償で桜を植えた旧国鉄バスの車掌・故佐藤良二さんの車掌・故佐藤良二さんを顕彰する大会で今年で24回目。国内外から139人が参加した。



元気にエイドを見守る本田さん＝郡上市大和町で



第2チェックポイントに一番乗りし笑顔みせる高橋さん＝郡上市白鳥町で

歌や名物で応援

ネイチャーラン 県内沿道でも



ランナーを演奏で応援する新正春駒会のメンバーたち＝岐阜市天池で

名古屋城から金沢市の兼六園までの二百五十キロを一週間かけて走る「さくら道国際ネイチャーラン」（郡上市、中日新聞社など共催）が二十一日に始まり、県内の沿道では多くの人が、ランナーを応援したり、給水などを行う「エイドステーション」で名物料理を振る舞ったりした。

（堀亮、鳥居彩子）

新正春駒会が
郷土民謡披露

岐阜 岐阜市天池の沿道では、地元の民謡グループ「新正春駒会」が、歌と演奏でランナーの背中を押した。

新正春駒会が二十年以上続けており、今年は約十人が参加した。三味線と太鼓、笛で奏でる郡上節や白鳥節に合わせ、清水正光会長（こゝ同市天池）が威勢のいい歌声を披露。歌の合間には「頑張れ」と声を掛けてランナーとハイタッチし、笑顔で応援した。

清水会長は「ランナーが元気で兼六園まで行けるよう、願いを込めた」と話した。

2017.4.23 広域岐阜版

徹夜の花道 いま北上中

ネイチャーラン

名古屋から金沢市までの二百五十キロを走破する「2017さくら道国際ネイチャーラン」（岐阜県郡上市、中日新聞社など共催）が二十一日、開幕した。ランナーたちは同日午後、岐阜と富山を結ぶ国道156号などを走り続けた。



満開の桜の下を力走する選手 22日午後、岐阜県郡上市白鳥町で

桜が「満開」や「散り始め」の郡上市では、花びらが舞う中を北へ進んだ。ランナーたちは夜を徹して、金沢市の兼六園を目指して走り、二十三日朝から夕方まで、今年で二十四回大会で、国内外から約四百四十人が参加した。

95歳本田さん 笑顔で激励

郡上・大和

○：郡上市大和町の「おおくろエイド」では、第二回からエイドを守る九十五歳の本田さん（こゝ千葉市）が、午後四時四分に一番乗り。この町に入ってから、応援がめっちゃ多くてうれしい。桜の苗を植え続け、

「鶏ちゃん焼き」と「アズキナのおひたし」を用意し、ランナーに提供した。ここを楽しみにしているランナーもあり、おいしそうにほおばっていた。

2017.4.23 第二社会面

徹夜の花道 いま北上中 名古屋—金沢ネイチャーラン



名古屋から金沢市までの二百五十キロを走破する「2017さくら道国際ネイチャーラン」（岐阜県郡上市、中日新聞社など共催）が二十二日、開幕した。ランナーたちは同日午後、岐阜と富山を結ぶ国道156号などを走り続けた。

コースには、ランナーの支援をする「エイド」四十七カ所が設けられ、ボランティアたちがランナーを迎えて軽食や飲み物を提供。桜が「満開」や「散り始め」の郡上市では、花びらが舞う中を北へ進んだ。ランナーたちは夜を徹して、金沢市の兼六園を目指して走り、二十三日朝から夕方にかけてゴールする。

「太平洋と日本海を桜でつなぐ」と、無償で桜を植え続けた旧国鉄バスの車掌、故佐藤良二さん（郡上市白鳥町出身）を顕彰する大会で、今年で二十四回目。国内外から約百四十人が参加した。

桜の下を力走する選手＝22日午後、岐阜県郡上市白鳥町で

2017.4.23 第二社会面(岐阜)



満開の桜の下を力走する選手＝22日午後、岐阜県郡上市白鳥町で

名古屋から金沢「さくら道」駆けるネイチャーラン開幕

名古屋から金沢市までの二百五十キロを走破する「2017さくら道国際ネイチャーラン」（岐阜県郡上市、中日新聞社など共

催）が二十二日、開幕した。ランナーたちは同日午後、岐阜と富山を結ぶ国道156号などを走り続けた。

コースには、ランナーの支援をする「エイド」四十七カ所が設けられ、ボランティアたちがランナーを迎

えて軽食や飲み物を提供。桜が「満開」や「散り始め」の郡上市では、花びらが舞う中を北へ進んだ。ランナーたちは夜を徹して、金沢市の兼六園を目指して走り、二十三日朝から夕方にかけてゴールする。

「太平洋と日本海を桜でつなぐ」と、無償で桜を植え続けた旧国鉄バスの車掌、故佐藤良二さん（郡上市白鳥町出身）を顕彰する大会で、今年で二十四回目。国内外から約百四十人が参加した。

2017.4.23 東海版 第二社会面

250キロ 徹夜の花道 ネイチャーラン開幕

名古屋から金沢市までの二百五十キロを走破する「2017さくら道国際ネイチャーラン」（岐阜県郡上市、中日新聞社など共催）が二十二日、開幕した。ランナーたちは同日午後、岐阜と富山を結ぶ国道156号などを走り続けた。

コースには、ランナーの支援をする「エイド」四十七カ所が設けられ、ボランティアたちがランナーを迎えて軽食や飲み物を提供。桜が「満開」や「散り始め」の郡上市では、花びらが舞う中を北へ進んだ。ランナーたちは夜を徹して、金沢市の兼六園を目指して走り、二十三日朝から夕方にかけてゴールする。

「太平洋と日本海を桜でつなぐ」と、無償で桜を植え続けた旧国鉄バスの車掌、故佐藤良二さん（郡上市白鳥町出身）を顕彰する大会で、二十四回目。国内外から約百四十人が参加した。

2017.4.23 第二社会面(福井)

太平洋側から日本海側までを結

ランナーは午後に郡上市を通過し、世界遺産白川郷の合掌造り集落を抜けた後、トップは23日午前6時にも兼六園に到着する。

2017.4.24 日刊県民福井 第二社会面

るか不安ばかりだった」と振り返った。七月に24時間走の世界選手権も控えているが、「二年前からの大会で二百五十キロを走りたくて練習してきた。ようやく念願がかなって出場できたので、完走できることがうれしい」と涙を浮かべた。

名古屋と金沢間を運行した旧国鉄バスの路線沿いになつた旧桜の木を植へ続けたバスの車掌、故佐藤良一さん（郡上市白鳥町出身）を顕彰する大会で、今年で二十四回目。兼六園内に残るゆかりの木「佐藤桜」にタッチしてゴールするのが恒例となっている。（岡本真穂）

★「ネイチャーラン」金沢にゴール
名古屋市から金沢市までの250
キロを走破する「さくら道国際ネイ
チャーラン」（岐阜県郡上市、中
日新聞社など共催）は23日午前6
時すぎ、千葉市の会社員、高橋伸
幸さん（34）が24時間3分12秒でゴ



2500mを走破し、1位でゴールする高橋伸幸さん。23日、金沢市兼六町で（木戸佑撮影）

250^キロネイチャールン
ゴール

名古屋と金沢間を運行した旧国鉄バスの路線沿いに桜の木を植え続けたバスの車掌、故佐藤良二さん（郡上市白鳥町出身）を顕彰する大会で、今年で24回目。兼六園内に残るゆかりの木「佐藤桜」にタッチしてゴールするのが恒例となっている。（岡本真穂）

139

48歳 笑顔でゴール

ネイチャーラン

県内唯一の参加者・木野さん

二十一日朝に名古屋を
出発し、本州を南から北に
250キロを駆け抜けるネ
イチャーラン。完走した
金沢市才田町の木野一
さん(48)は「初めて出場し
た一昨年よりも少し遅か
ったが、自分が思い描いた

ペースで進むことができ
たのがよかった」と喜ん
だ。今回県内唯一の参加者
で、出場は三年連続とな
る。記録は32時間4分8
秒。ゴールでは笑顔で浮か
べ、250キロを走り終めた



佐藤 桜

ゴールの佐藤桜の前ではほほえむ木野市一さん(金沢市の兼六園で)

今年も真心サポート

金沢の喜多さん

「元気もらえ」

富山県南砺市との境に設
けられた金沢市東原町のエ
イドステーション「水芭蕉
(みずばしゅう 会朝市)」
は愛知、岐阜、富山各県を
駆け抜けてきた選手たちを
迎える金沢の玄関口だ。十
五年ほど前からこのエイド
ステーションを運営し続け

足も軽やかだった。
約十年前、運動不足を
解消しようとトライアスロ
ンを始めたのがきっかけ
で、「自分の限界を試した
い」と徐々に走る距離を
伸ばしてきた。
仕事後に走るお気に入り
のコースが自宅の才田町か

ら兼六園の佐藤桜だとい
う。ゴール地点には妻の陽子
さん(48)や、トライアスロ
ン仲間たちも。「妻は五箇
山のおたからちよくちよ
く応援に顔を出してくれ
た。金沢市に入るとエイド
の人もだいたいの知り合
いで、「ようやう来たか」と
いう感じで声をかけてくれ
た」と感謝の言葉を口にし
た。(岡本真穂)

2017.4.24 北陸中日 石川県版

る町民がいる。
東原町会長の喜多和男さ
ん(55)。第八回大会(ころか
らエイド)の運営を主導する
ようになった。
準備は午前二時ごろから
始まる。先頭ランナーが通
過するのが明け方前のだ
め。全てのランナーが通過
する方まで立ち続け、最
近はネットでも通過情報が見
られるようになっていた



水芭蕉朝市のエイドステ
ーションを長年運営する喜多和
男さん(金沢市東原町で)

便利になった。昔はテント
もなく、屋外でたき火にあ
たって震えながらやってい
た。と苦労をにじませる。
「いろんな人が来るので
面白い」と、やりがいを感じ
る喜多さん。顔なじみのラ
ンナーとの再会も、楽しみの
一つだ。「長い距離を走
って来る姿に元気をもらえ
ますね」

林さん(高岡)家族とゴール

ネイチャーラン、県勢トップ

二十一日朝に名古屋を
出発し、250キロを駆け抜
けたネイチャーラン。高岡
市の自営業林聡さん(56)が
二十三日、県勢トップの33
時間31分19秒で金沢市の兼
六園にゴールした。
今年で三回目の出場とな
った林さん。「昨年に結
婚して子どもも生まれたの



長男の悠吾ちゃんを抱え、妻のぶさ子さんの
前でゴールする林聡さん(高岡市の兼六園で)

4日間全日程終了
ネイチャーラン閉会式
名古屋から兼六園ま
で走る「2017さくら
道国際ネイチャーラン」
(岐阜県郡上市、中日ス
ポーツなど共催)は24
日、岐阜県郡上市白鳥町
で閉会式を行い4日間の

全日程を終了した。
閉会式ではランナーや
ボランティア、関係者ら
180人を前に大会長の
日置敏明郡上市長は「ス
ポーツは国と国との境を
取り除くもの」とあいさ
つ。参加135人のうち
250キロのコースを完走
した106人に木製の完
走証を手渡した。女性ト
ップの中村麻季子さん
(32)は名古屋市の「後
半びつくりするほど気持
ち良く走れて、ゴールシ
ーンを思い浮かべながら
涙を流した」と笑顔をみ
せた。(堀亮)

2017.4.25 中日スポーツ

ツチした。
しのぶさんと悠吾ちゃん
は、スタート地点の名古屋
城から岐阜県まで林さん
について応援。一時帰宅し
たが、南砺市の五箇山から
ゴール地点まで再び応援を続
けた。林さんは「何が何
でも(悠吾ちゃんに)完走し
た姿を見せたかった」とほ
のかんだ。
県勢はのほか、松本貴
宏さん(45)は砺波市で35
時間14分2秒でゴールし、
長谷川雅也さん(56)は小矢
部市で途中棄権した。
(岡本真穂)

2017.4.24 北陸中日 富山総合版



ネイチャーラン
優勝者が桜植樹
郡上で閉会式

名古屋市中から金沢市までの二百五十キロを走る「2017さくら道国際ネイチャーラン」(岐阜県郡上市、中田新聞社主催)の閉会式が二十四日、郡上市白鳥町で開かれた。

大会は名古屋―金沢間に桜を植えた旧国鉄バス車掌の故佐藤良二さん(同町出身)を顕彰し、今年で二十四回目。

大会長の日置敏明郡上市長は、ランナーの百八十人を前に「佐藤さんは道の外に桜を植えてみんなを喜ばせようとした。国際的には道をつくる動きもあるが、スポーツは国と国との橋を取り除くもの」とあいさつ。

参加百三十五人のうち完走した百六人に木製の完走証を手渡した。

式に先立ち、市合併記念公園で、日置市長と男性一位の高橋伸幸さん(千手、女性一位の中村麻季さん)が、名古屋市中区二丁目、が桜の苗木二本を記念植樹した。

ネイチャーラン
交流し振り返る
郡上で県内選手

郡上市白鳥町で二十四日開かれた「2017さくら道国際ネイチャーラン」(郡上市、中田新聞社主催)の閉会式に、県内から出場した選手たちは晴れた日、練習の疲れが癒えた表情で臨んだ。

と話し、初挑戦の県内の選手は十五人のうち十三人が完走。岐阜市は「厳しく美しいコースを応援のおかげでゴールできた」。

「今年は天気もよく、無事完走できてよかった」と喜び、大西泰嗣さん(羽島市)は「完走できてうれしい」。

「同じくらいの年齢で亡くなった(大会のきつかった)大会のきつかけだった。佐藤さんとの思い出を持って走った」。

○県内出場者の記録

日置和徳(郡上市)	27時間34分
西川昌志(岐阜市)	29時間20分
大西泰嗣(羽島市)	32時間32分
谷口天(多治見市)	33時間4分
丸山秀和(中津川市)	33時間33分
南宮浩樹(土岐市)	34時間12分
小川幸雄(池田町)	34時間38分
山中克仁(土岐市)	34時間58分
片桐良子(岐阜市)	35時間2分
遠藤賢二(各務原市)	35時間34分
長屋謙章(岐阜市)	35時間38分
北村幸夫(大垣市)	35時間41分



県内から出場したランナーの皆さん。郡上市白鳥町で

2017.4.25 岐阜総合版

2017.4.25 東海版 第三社会面



ネイチャーラン
優勝者が桜植樹
郡上で閉会式

名古屋市中から金沢市までの二百五十キロを走る「2017さくら道国際ネイチャーラン」(岐阜県郡上市、中田新聞社主催)の閉会式が二十四日、郡上市白鳥町で開かれた。

大会は名古屋―金沢間に桜を植えた旧国鉄バス車掌の故佐藤良二さん(同町出身)を顕彰し、今年で二十四回目。

大会長の日置敏明郡上市長は、ランナーの百八十人を前に「佐藤さんは道の外に桜を植えてみんなを喜ばせようとした。国際的には道をつくる動きもあるが、スポーツは国と国との橋を取り除くもの」とあいさつ。

参加百三十五人のうち完走した百六人に木製の完走証を手渡した。

式に先立ち、市合併記念公園で、日置市長と男性一位の高橋伸幸さん(千手、女性一位の中村麻季さん)が、名古屋市中区二丁目、が桜の苗木二本を記念植樹した。

女性トップ 名古屋の中村さん

名古屋市中から金沢市までの二百五十キロを走る「2017さくら道国際ネイチャーラン」(岐阜県郡上市、中田新聞社主催)の閉会式が二十四日、郡上市白鳥町で開かれた。

大会には、県内から二十八人が出場し、二十一人が完走した。女性トップの27時間49分47秒でゴールした中村麻季さん(千手、名古屋市中区二丁目)は「後半、びくびくするほど気持ちよく走れた」とにっこり。春田真由香さん(同市)は「家族総出で名古屋から金沢まで応援してもらった」と話していた。

(堀亮)



県内から出場したランナーの皆さん。岐阜県郡上市白鳥町で

2017.4.25 第三社会面

2017.4.25 愛知県版

★ネイチャーラン閉会式 名古屋市中から金沢市までの250キロを走る「2017さくら道国際ネイチャーラン」(岐阜県郡上市、中田新聞社主催)の閉会式が24日、郡上市白鳥町で開かれた。大会は名古屋―金沢間に桜を植えた旧国鉄バス車掌の故佐藤良二さん(同町出身)を顕彰し、今年で24回目。大会長の日置敏明郡上市市長は、ランナーら180人を前に「佐藤さんは道の外に桜を植えてみんなを喜ばせようとした。国際的には道をつくる動きもあるが、スポーツは国と国との橋を取り除くもの」とあいさつ。参加135人のうち完走した106人に木製の完走証を手渡した。

2017.4.25 北陸中日 社会面

四月に開催された名古屋城から兼六園までの二百五十キロを走る「2017さくら道国際ネイチャーラン」は、ランナーや大会を支えるボランティアに感謝する。学芸などが本場に多い。去年は悪天候で途中打ち切りだったが、今年は好天に恵まれた。とはいえず、初日は向かい風。昼間は桜が咲く種やかな平地を走ることが、夜はつと冷え込む山間部を走る。過去四回、雪が降った。深夜にいくつもトンネルを抜けていく。

さくら道

「高校の先輩がいて、いまが完走できる生徒たちとの約束が果たせました」「不調だったけど皆さんの応援があつて完走できました」「家族が名古屋から金沢までずっと応援してくれました。表彰で出陣して守りて応援にまわった元優勝ランナーも、さままな思いを胸に秘め、二十時間の閉会式では参加者の「やり遂げた」といふ達成感がひしひしと伝わってきた。大会を陰で支えているのは七百人のボランティアたち。エイドに並ぶランナーに温かい指や声援を送る。あの明るい笑顔は忘れられない。(堀亮)

2017.5.16 中濃版

2017さくら道国際ネイチャーランの記念として回想録を作成いたしました。

手作りで十分な記録集までには至りませんが、みなさんでご覧下さい。

……思い出の1ページになれば幸いです。

さくら道国際ネイチャーラン実行委員会事務局